

- **管 内** オホーツク管内
- **分 類** 生活安全 交通安全 災害安全
- **教育課程** 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動 その他
- **校 種** 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- **取組のポイント**

- 危険予知トレーニングを取り入れた交通安全教室の実施による危険回避能力の育成
- P T Aと連携した交通安全指導による自転車等の安全な利用の徹底

取組の実際

ねらい

- 自転車及び自動車運転者の視点に立った講話により、生徒に対して、社会の一員としての自覚と社会的責任の意識を高める。
- 生徒及び保護者、教職員が一体となった取組により交通安全の意識を高める。

内 容

1 交通安全意識を高める交通安全教室

○ 外部講師による講話

- 演題 危険予知による交通安全
 講師 (社)日本自動車連盟推進課職員
 内容 ・交通事故発生の要因
 ・自転車及び自動車の運転者として気を付けること
 ・映像による危険予知トレーニング
 ・交通事故の未然防止の心得



講師による講話

○ 生徒会長による交通安全宣言

2 P T Aと連携した交通安全指導

- 時間 登校時間帯（午前8時～8時25分）
 場所 学校校門前、学校付近の道路
 指導 教職員及びP T A役員
 内容 ・生徒に対する通学マナーの指導
 ・スクールバス及び送迎車両の誘導
 ・一般車両に対する安全運転の呼びかけ

< P T Aや生徒の感想 >

- P T A
 - ・生徒とすがすがしい挨拶を交わすのがいつも楽しみでした。
 - ・生徒の通学マナーもよく、大人も見習うべきだと思いました。
- 生徒
 - ・交通安全教室で学んだことを実践で確かめることができました。
 - ・一般のドライバーも安全運転していただき、安心して登校できました。

成果と課題

- 自転車及び自動車の運転者の視点に立った講話により、関係法規に基づく自転車等の安全な乗り方やマナーについて理解を深めることができた。
- P T Aの協力により、教職員と保護者が一体となった交通事故の防止に向けた指導をはじめ、挨拶の励行や生徒に寄り添った声かけなど、地域全体で生徒を見守る機運が高まった。
- 生徒会活動と連動した交通安全の推進など、生徒が主体となって自らの安全を確保する取組を充実させる必要がある。